

留学生に聞く「私の国の女性たち」アンケート回答まとめ (2023. 02. 28)

参加者数 対面参加者 15名 (話題提供者5名含む) Zoom参加者 18名
アンケート回答 14名 (大学女性協会会員 11名 一般2名 学生1名)
回答者の年代 30歳未満 1名 60代 4名 70代 8名 80歳以上 1名

Q: 今日の内容はいかがでしたか?

とてもよかった 9名 よかった 5名

Q: 上の選択肢を選んだ理由はどんなことですか?

いろいろな国の女性の歴史・状況・問題点などが理解できたことや、若者世代の視点や考え方が聞けたことが良かったという共通のコメントが多くあった。回答をいくつか紹介する。

*4つの国の女性たちの歴史がよくわかり、また現代における問題点もよくわかりました。

留学生の方々は、入念に準備をされ、すばらしい発表をされたと思います。また、母国語でないのに、日本語を上手に駆使されて話されたこともとても感心いたしました。

*女性問題の現状と言っても、それぞれの国の文化、歴史、経済発展状況により、考え方、取り組み方が異なることがわかりました。でも共通していることは確実に変化してきていることだと思いました。どの発表者も、自信を持って現状に立ち向かっている姿勢が良かったです。

*本で読んだりデータから知ったりするのはまったく違うインパクトがありました。また、同じアジア圏でありながら、これまでよく知らなかったことがたくさんあることに気づきました。フランスのレポートでは、「私の身体、私の選択」というフレーズが説得的でとても印象に残りました。

*いくつかテーマを絞って状況と問題点を話していただくと各国の違いがより浮き彫りになって面白かったかもしれないですね。

*どの国も男性の築き上げた社会から男女共同参画へ「女性」が努力していること。現代の若者が家庭を持つこと、結婚、出産に否定的であることなど(後略)。

*頂いた資料中に学校体制の表があり、義務教育がベトナム、フィリピン台湾などが高校まで12年間ということで、韓国と日本が中学迄9年間。実質的に日本は高校まで12年間かとは思いますが、日本も義務教育を高校まで12年間とすべきと思った。

5. 留学生の皆さんにメッセージを

留学生のみなさんへのエールと共に、以下のようなコメントがあった。

*韓国はお隣の国なのに、知らないことが多く、いろいろ学ばせていただきました。日本と

共通する問題が多くあるように思いました。共同して解決に当たることができればよいと思いました。

ベトナムは、私にとってはとても訪れたい国の一つで、このお正月をホーチミンで過ごし、ベトナムの方々の優しさとパワーに感心しました。日本ではあまりベトナムの女性について知る機会がないので、今日、教えていただいたことは大変参考になりました。

フランスの女性の歴史について、興味深く伺いました。フランスでは、オランプ・ド・グージュや、シモーヌ・ド・ボーヴォワールなどの重要なフェミニストがいる反面、女性の参政権獲得が日本と同じ第2次世界大戦後だったり、フェミニズム思想と、実際の社会の動きとの関連に興味があります。その意味で、カトリックの国ながら、早い時期にシモーヌ・ヴェイユ法が成立したこともとても興味深く聞かせていただきました。この法案成立に社会がどのように反応したのか——賛成が多かったのか、反対もあったのかなど——ということも時間があれば、質問したいことでした。

フィリピンは、男女共同参画が進んでいる国として知られていますが、今日のお話でもそれを実感できました。どのようにしてフィリピンの女性たちが社会進出していったのか、日本も参考にしたいと思いました。

- * 韓国：結婚よりキャリア選択、ベトナム：子供から親への仕送り、フランス：女性3世代と社会の変化、フィリピン：仕事と子育ての両立、台湾：LGBT への強い思い などがとても印象に残りました。今後も大学での研究やその後のお仕事で頑張ってください！日本の学生や私たちのようなシニアにも刺激を与えてくださいね。
- * 達者な日本語でお話しくださいましてありがとうございました。どの国も男女共同参画に女性が努力していることを痛感しました。男女が本当に人間として尊重され共存するには男性の理解が得られなければなりません。それには2千年以上の月日が必要です。あなたの目になわなくても人格的に許せる男性がいたら結婚してください。たとえ十数年かかってでも洗脳してください。焦ってはだめです。一人でも女性の味方を増やしていく機会を作ってください。悲しいことに哺乳動物の一種である女性は妊娠、出産の時期が限られています。あなたの優秀なDNAを後世に残してください。一時的に大切なお仕事から離れなければいけない時間があるかもしれません。子供をそばに置きながら仕事を続ける覚悟で、きっと女性の味方というか人間社会がお互いを尊重して発展していく社会が得られるのではないのでしょうか？
- * なぜフィリピンの女性の社会進出率が高いのか。（すでに考察されていることかもしれませんが）今回日本を含む他のアジアの国との違いの一つに宗教が関係しているのでは、と感じたのですが、それについての考えを伺いたかったです。時間切れでした。
- * やはり生の声を通して一つの見方を知ることができるのは楽しいです。